

【協議書の記入例】 2部作成(県用と市用)・提出です。

令和4年8月2日より申請者の押印が不要となりました

[協議書様式]

[文書番号] 第 号

令和 年 月 日

(大崎市教育委員会経由)

宮城県教育委員会教育長 殿

①

住所： 宮城県大崎市古川七日町1-1

氏名： 大崎市長 [氏 名]

②

●●

工事

計画と埋蔵文化財の関わりについて（協議）

このことについて、下記のとおり開発の基本計画を策定中ですが、開発の計画及び実施に当たり、文化財保護法の趣旨及び適用措置を十分に尊重いたしたく、関係書類を添えて協議いたします。

記

1. 事業名：

②

●●工事

2. 事業実施年月日：

③

令和 年 月 日

3. 事業実施予定地：

④

大崎市●●字●● □番地

4. 協議対象遺跡：

⑤

●● 遺跡

5. 提出書類

⑥

①計画概要書

⑦

②位置図及び関係図面

6. 備考：

【記載方法】

- ①建築主や事業主の名前を記入。法人の場合はその名称と代表者の氏名を記入。
- ②工事名を記入。（「道路建設工事」「水道管埋設工事」「河川改修工事」など。）
※工事内容が分かるよう簡潔にお願いします。
- ③工事予定日を記入（「令和●年●月●日」「令和●年●月下旬」など）
- ④工事計画地の地番を記入。
- ⑤遺跡名（「●●遺跡」、「●●城跡」など。文化財課職員にお問い合わせください。）
- ⑥工事面積、内容（造成の有無・工法）、工期などがわかるもの。
※所定様式はありません。任意で作成願います。
※作成例がありますのでお問い合わせください。
- ⑦工事場所の案内図、工事概要図、配置図、平面図、建物基礎や埋設物の断面図。